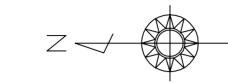


### 平面図 S=1:200

点名	X座標	Y座標
KBM (T1)	561. 309	399. 609
T2	546. 433	401. 415



# 芦沢林道 1-1号

### 曲線諸数値表

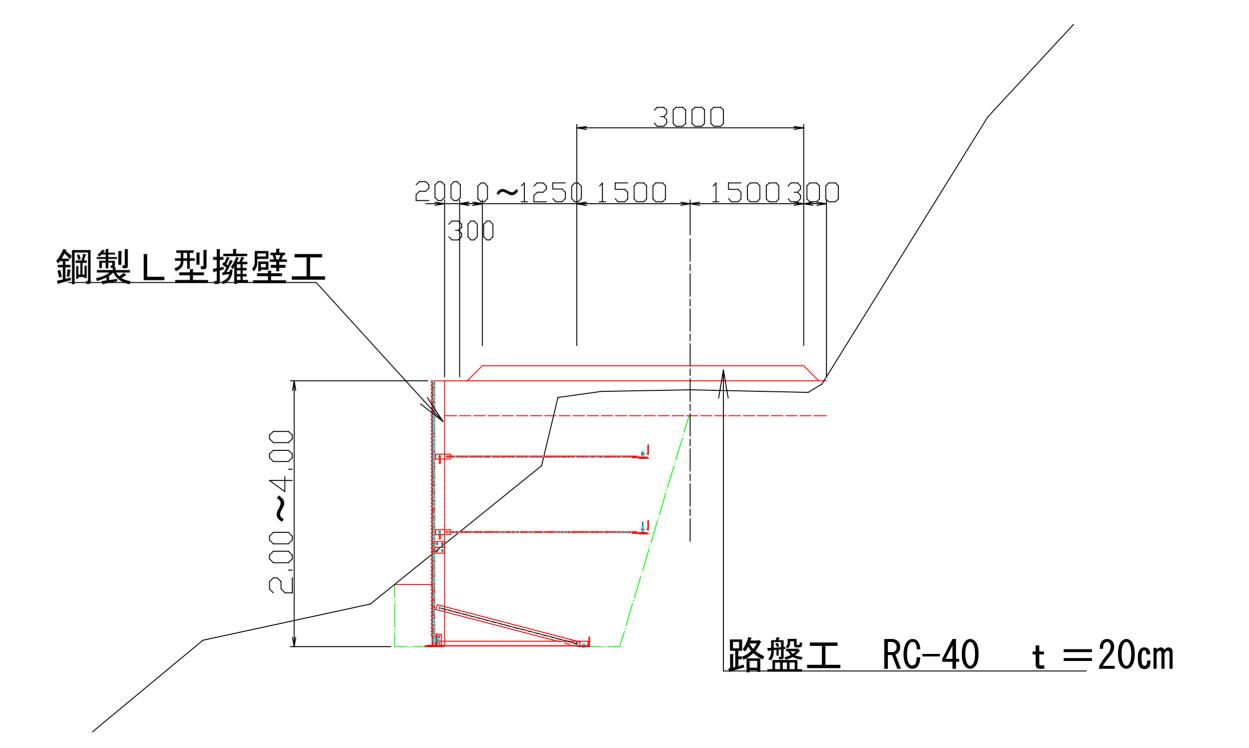
ΙP			]	Α								
NO	D	A	L	R	R	T. L	S. L	C. L	B. C	M. C	E. C	IP. D
0	0											0.0
1	6. 5	154° 53′	25° 07′		20	4. 5	0. 5	8.8	2. 0	6. 4	10.8	6. 5
E. P	4. 5											10.8

復旧延長 L=13.00
ॢ 鋼製L型擁壁工 L=13.00 _ / 55.23
H=90,000 KBM (T1) B5
95
· (4) 横断側溝 300×300 L=6.00

図	名	平 面 図 1/1	
署	名	東北森林管理局米代東部森林管理署 上小阿仁支署	
名	称	芦沢林道災害復旧工事1-1号	
縮	尺	1:200	

# 縦 断 図 <u>95. 0</u>0 90.00 DL=85. 00 盛土高 切 土 高 計画高 地 盤 高 追 加 距 離 単 距 離 平面線形曲率図 IP. 1 R =20. 000

### 標準断面図 S=1:50

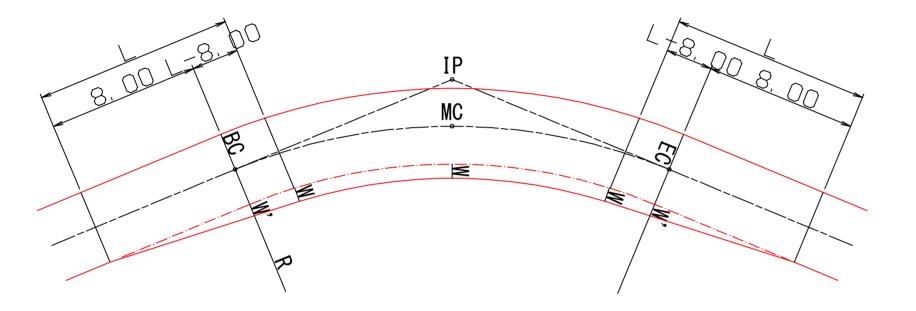


# 芦沢林道 1-1号

名科	<b>T</b>	芦沢林道 1-1号		
種数	頁	自動車2級		
延長	≣V	L=24.8m		
全幅員	<b>III</b>	W=3.60m		
勾 最終	急	5. 08%		
最終	緩	5. 08%		
配平地	匀	5. 08%		
最小半征	圣	R=20		

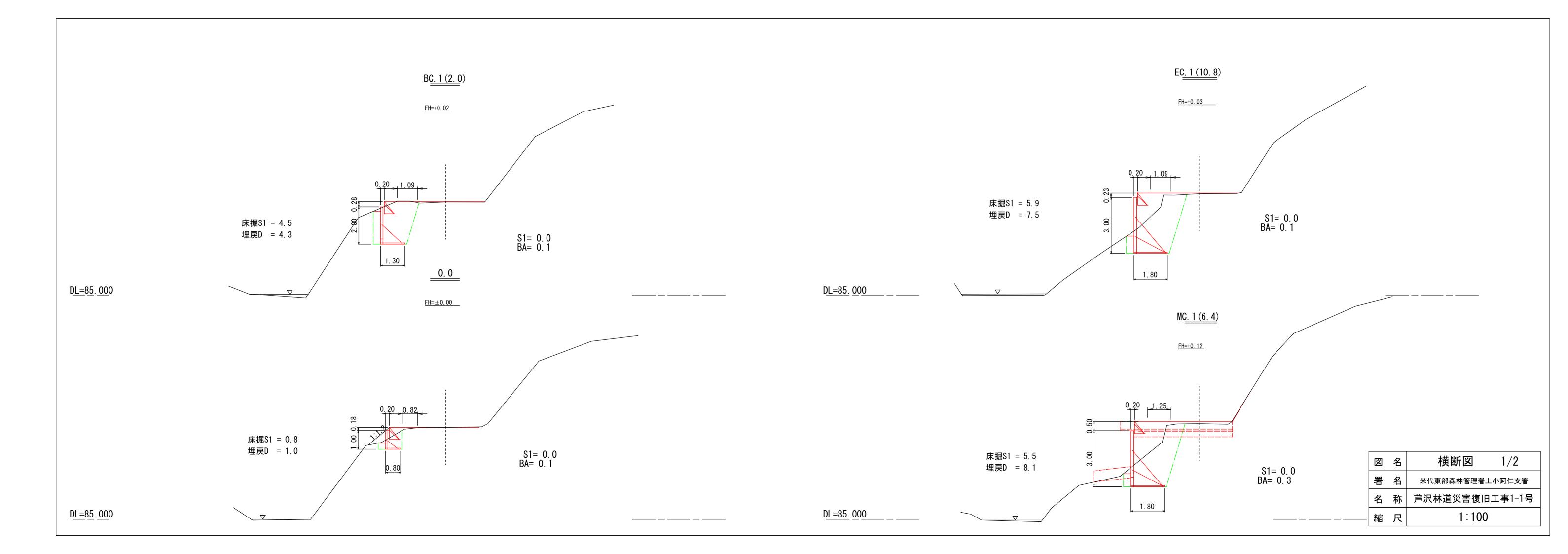
図	名	縦断面図	1/1
署	名	東北森林管理局米代東 上小阿仁支	
名	称	芦沢林道災害復旧	3工事1-1号
縮	尺	図	示

### 曲線部拡幅図(内側拡幅) S=1:200



区分	R	W	W'	L	L-8. 00
2級	12 13 14 15 16 17 18 20 21 22 23 24 25 27 28 29 31 32 33 34 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50	2. 25 2. 00 1. 75 1. 50 1. 50 1. 25 1. 25 1. 25 1. 00 1. 00 1. 00 0. 75 0. 75 0. 75 0. 50 0. 50 0. 50 0. 50 0. 50 0. 25 0. 25	2. 00 1. 78 1. 76 1. 54 1. 33 1. 32 1. 30 1. 09 1. 09 1. 08 1. 07 0. 86 0. 86 0. 86 0. 66 0. 65 0. 65 0. 45 0. 45 0. 45 0. 45 0. 45 0. 44 0. 44 0. 44 0. 23 0. 23 0. 23 0. 23 0. 23 0. 23	10. 24 10. 24 10. 35 10. 35 10. 36 10. 50 10. 50 10. 63 10. 63 10. 65 10. 65 10. 65 10. 36 10. 36 10. 36 10. 57 9. 85 9. 90 10. 10. 10. 10. 10. 24 10. 29 9. 33 9. 33 9. 38 9. 38	2. 24 2. 24 2. 35 2. 35 2. 36 2. 36 2. 39 2. 39 2. 43 2. 45 2. 46 2. 47 2. 48 2. 48

図	名	標準図	1/1
署	名	東北森林管理局米代東	
名	称	芦沢林道災害復旧	3工事1-1号
縮	尺	図	示



# 芦沢林道 1-1号

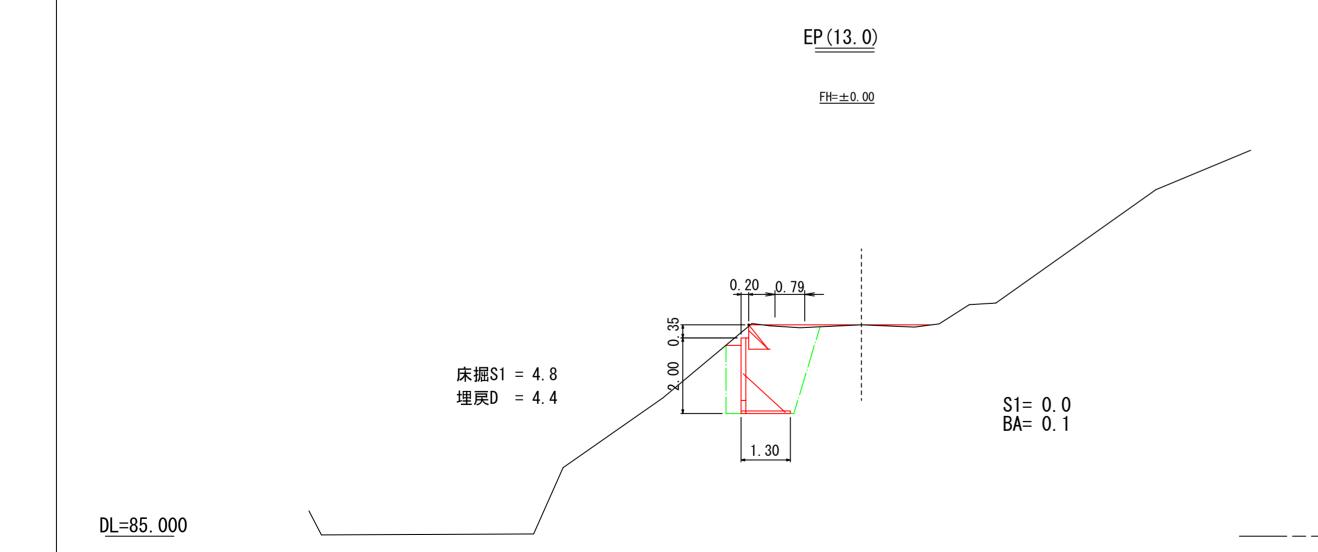
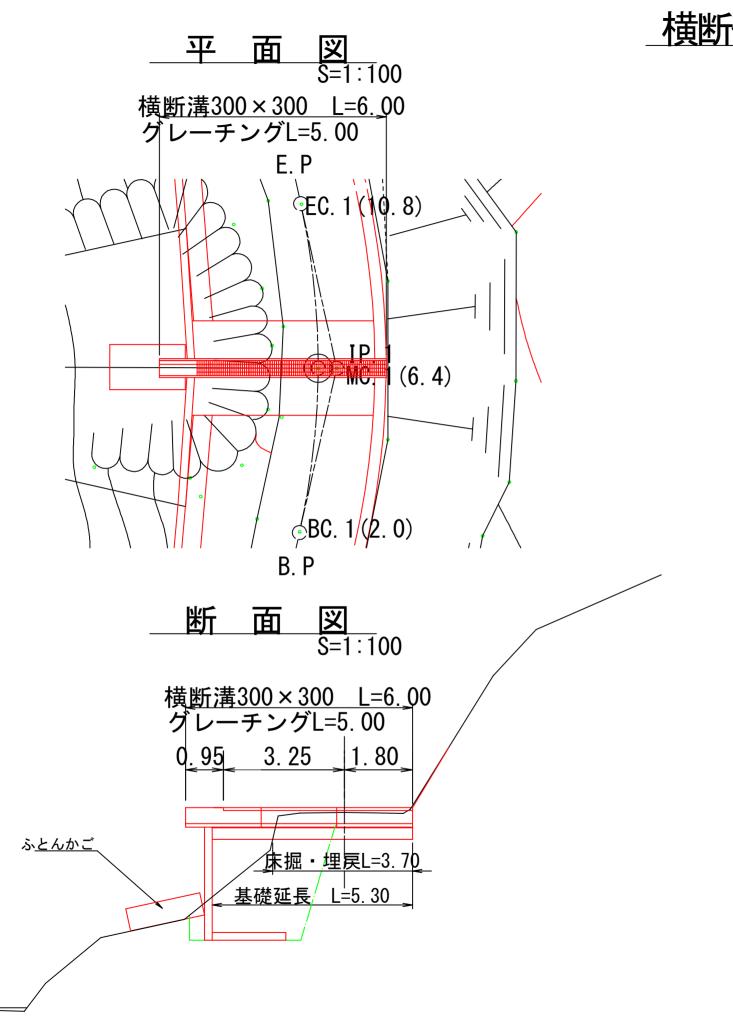
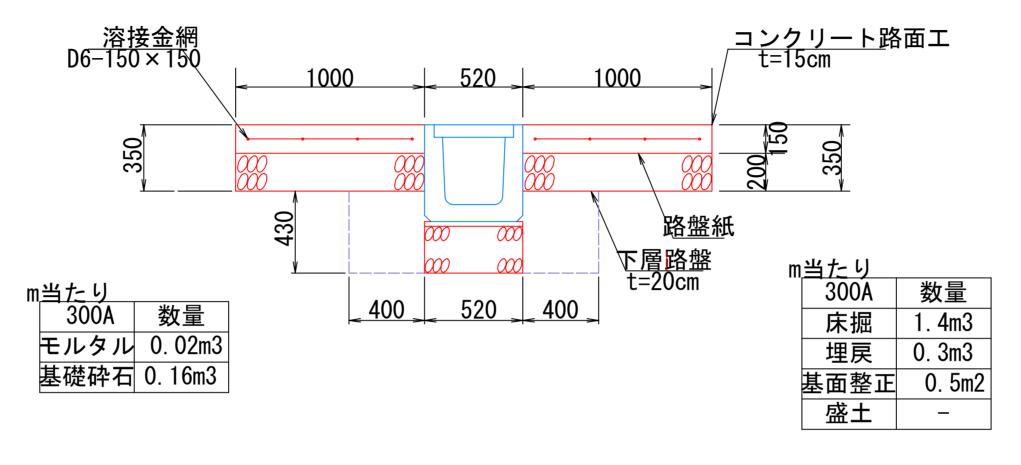


図	名	横断図	2/2
署	名	東北森林管理局米代東部 上小阿仁支	
名	称	芦沢林道災害復旧	]工事1-1号
縮	尺	1:100	)

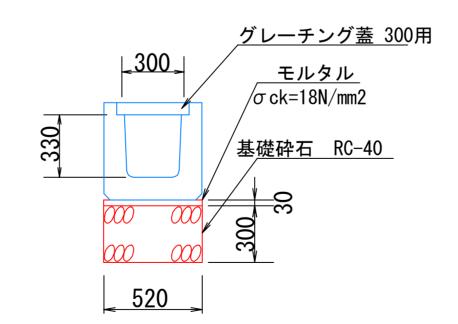


### 横断側溝工詳細図

#### <u>横断溝布設断面</u> S = 1:20



#### 鉄筋コンクリートU型側溝 300A(横断用) S = 1:20



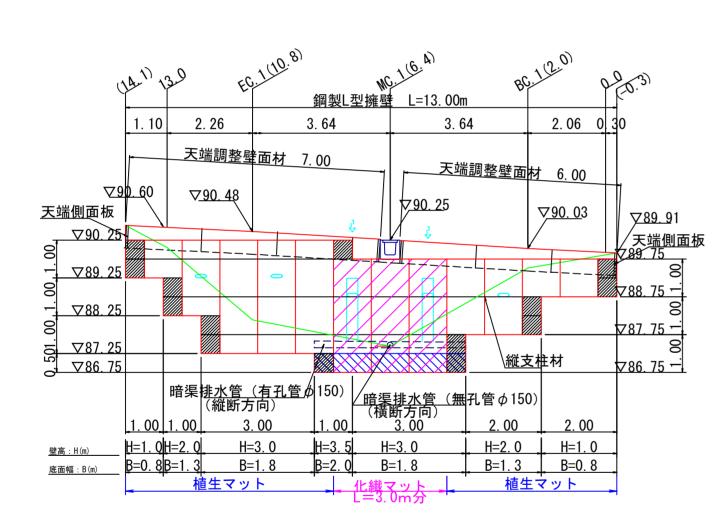
# 芦沢林道 1-1号

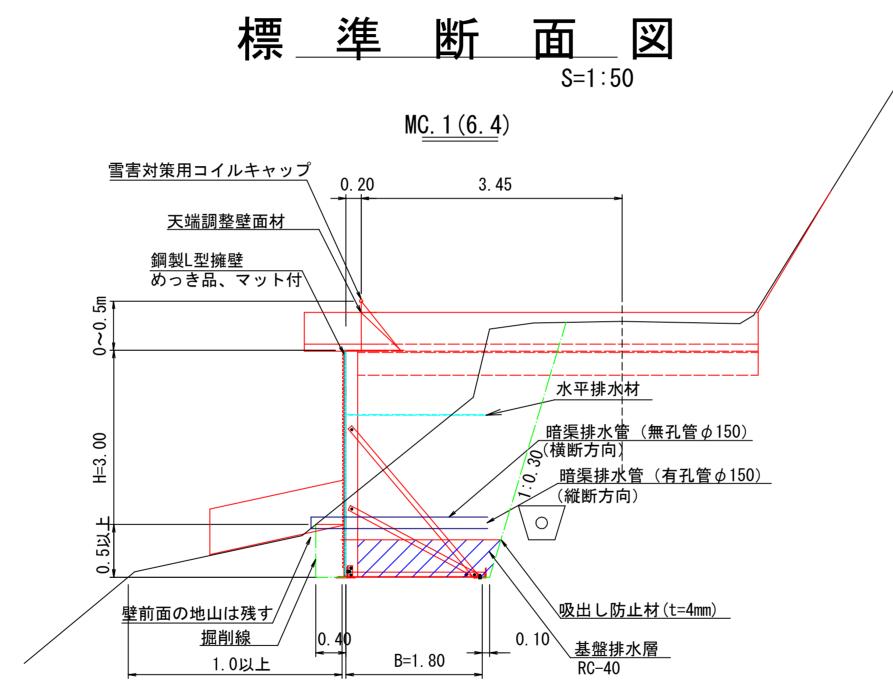
図	名	排水詳細図	1/1
署	名	東北森林管理局米代東部 上小阿仁支署	
名	称	芦沢林道災害復旧	工事1-1号
縮	尺	図	示

## 鋼製L型擁壁工

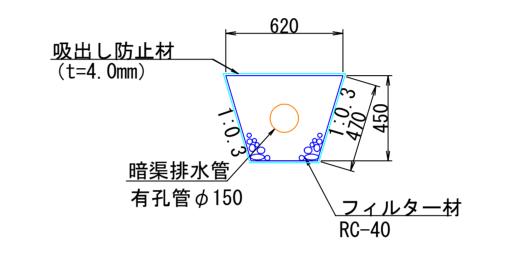
=1500~3500L=13. 00測点-0. 3~14. 1

### 





#### 縦断排水溝詳細図 S=1/20



### 凡例

	壁面を	<b>†</b> (1.	Om)

壁面材(0.5m)

端部壁面材(0.5m)

基盤排水層(RC-40)

背面排水材設置位置

----- 埋戻し線

設	計 条 件
盛土材の内部摩擦角	$\phi = 35^{\circ}$
盛土材の単位体積重量	$\gamma = 18.0 \text{kN/m}^3$
載荷重(活荷重)	$w = 10.0 kN/m^{-2}$

#### 最大地盤反力度

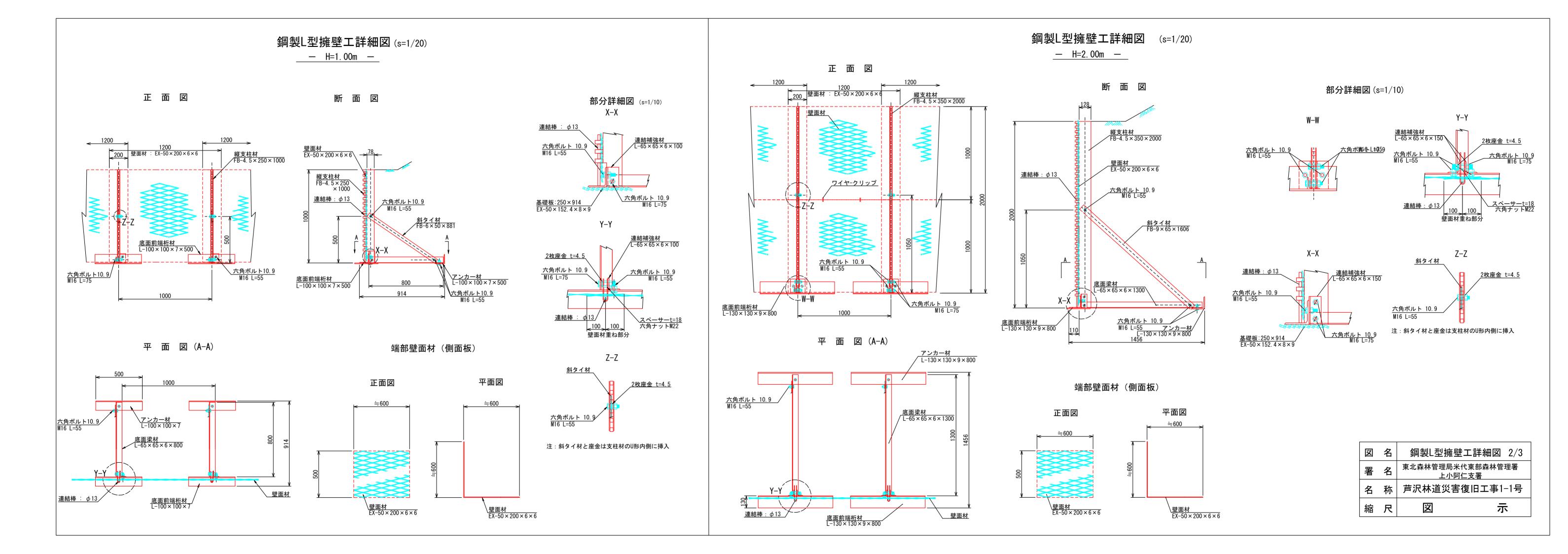
測点 3.5 常 時 qmax= 114kN/m² < qa=300kN/m²

#### 特記事項

- ・盛土材は転圧作業が行えるもの、または転圧作業ができるように改 良する事を前提とする。
- ・背面の掘削面に湧水がある場合は、壁体内に水が侵入しないような 排水対策を施すこと。
- ・実施に際して土質試験等を行い、所定の土質定数や支持力を満足するか 確認すること。
- ・施工管理基準値は以下の項目を目安とし、各機関の基準に従うもの とする。

施	工管理基準値
項目(頻度)	管理値又は許容値
盛土材の締固度 (盛土材500m <sup>3</sup> に1回)	・JIS A 1210のA, B法による最大乾燥密度の 95%以上、C, D, E法で90%以上とする。 ・岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管 理するものとする。
完成後の壁面勾配	・所定の壁面勾配士0.03H(H;壁高)

図	名	鋼製L型擁壁工詳細図	1/3
署	名	東北森林管理局米代東部森林管 上小阿仁支署	理署
名	称	芦沢林道災害復旧工事	1-1号
縮	尺	図	示



点名	X座標	Y座標
KBM (T3)	383. 093	393. 876
T4	406. 545	399. 063
KBM (T5)	433. 539	405. 129
T6	449. 589	410. 495

### 平 面 図 S=1:200

# 芦沢林道 1-2号

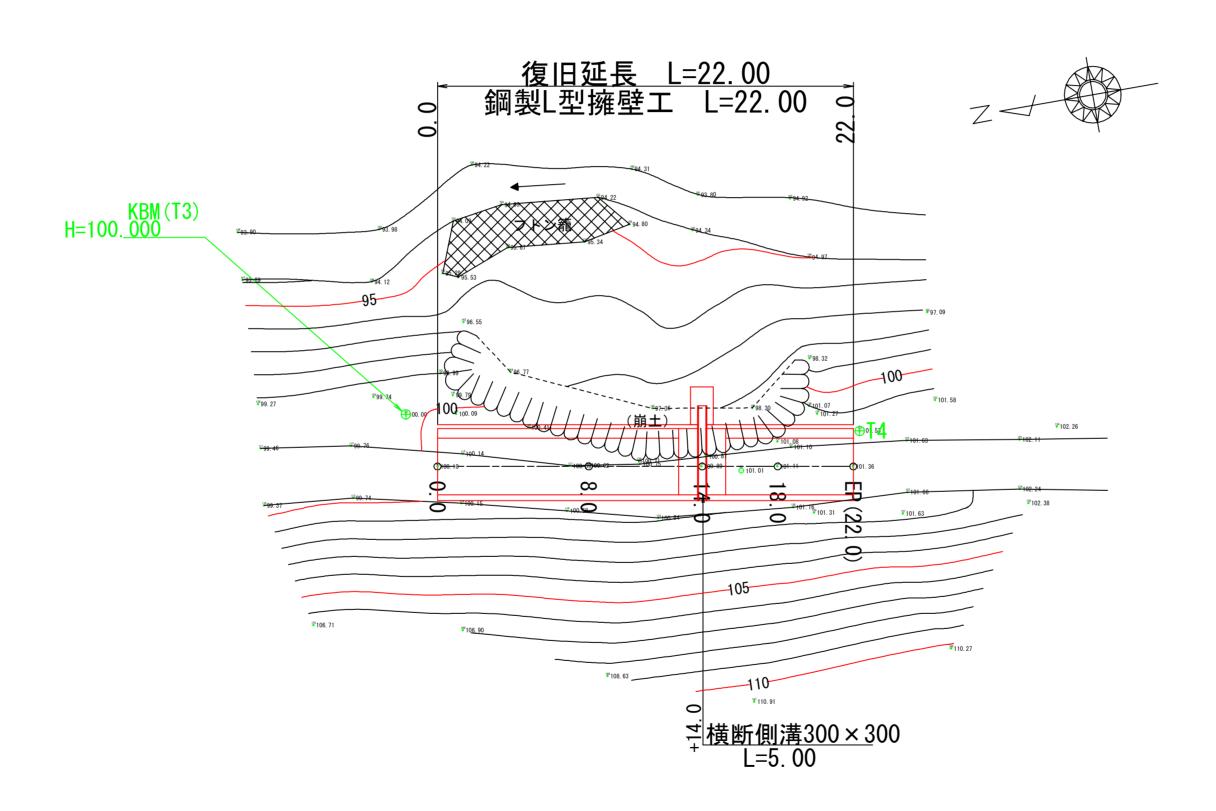
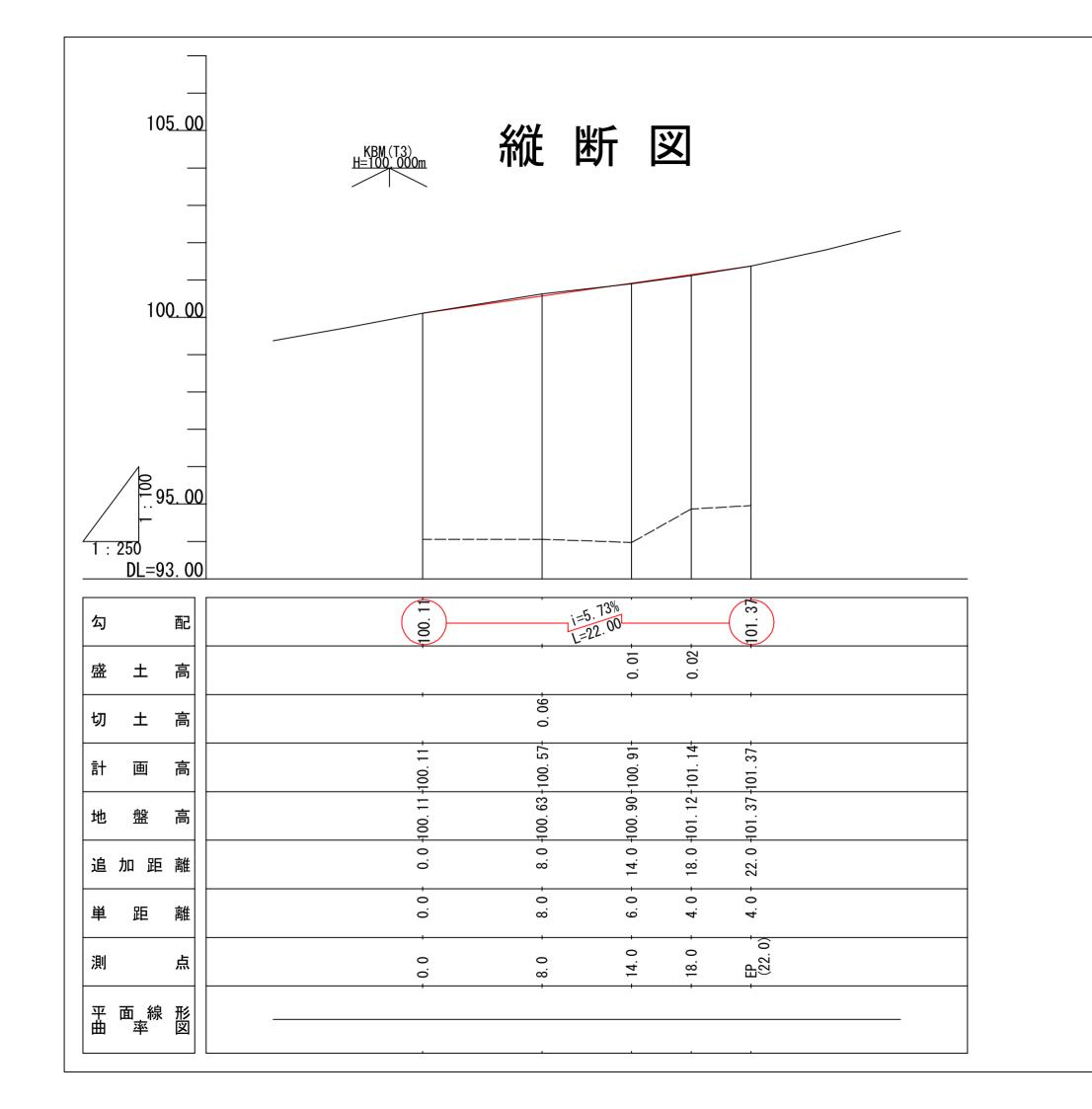
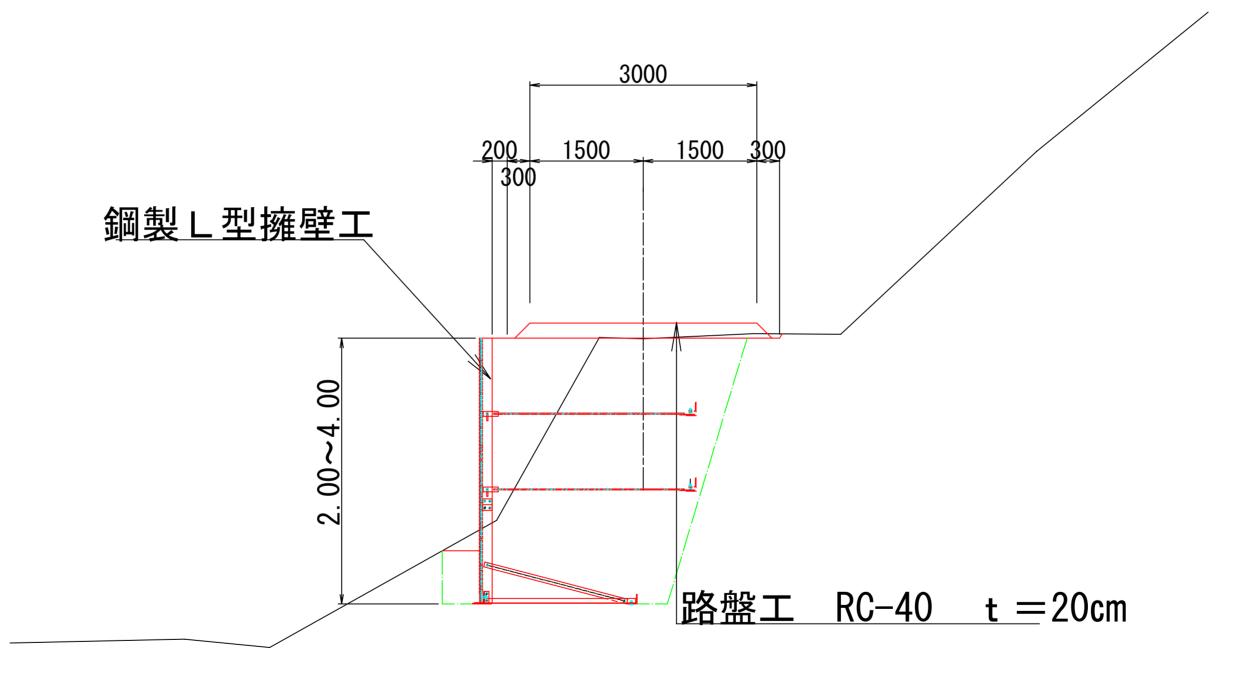


図	名	平 面 図 1/1
署	名	東北森林管理局米代東部森林管理署 上小阿仁支署
名	称	芦沢林道災害復旧工事1-2号
縮	尺	1:200



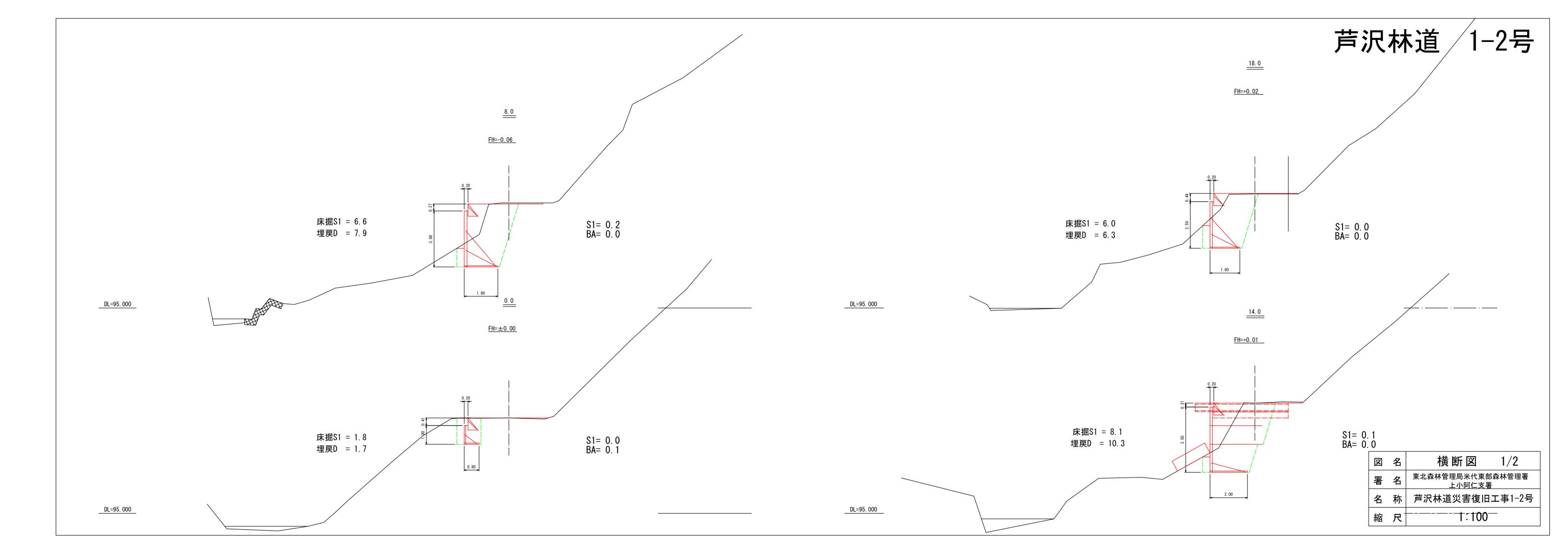
### 標準断面図 S=1:50



# 芦沢林道 1-2号

名 称	芦沢林道 1-2号	
種 類	自動車2級	
延長	延 長 L=22. Om	
全幅員	W=3.60m	
勾 最急	<b>幻</b> 最急 5. 73%	
最緩	5. 73%	
配平均	5. 73%	
最小半径	_	

図	名	縦断面図	1/1
署	名	東北森林管理局米代東 上小阿仁支	
名	称	芦沢林道災害復旧	工事1-2号
縮	尺	図	示



# 芦沢林道 1-2号

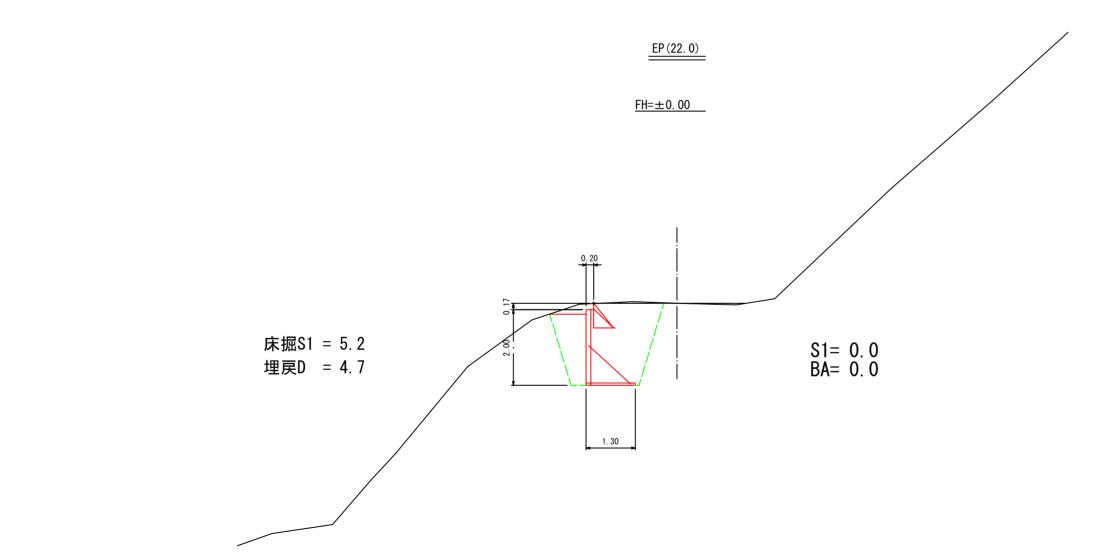
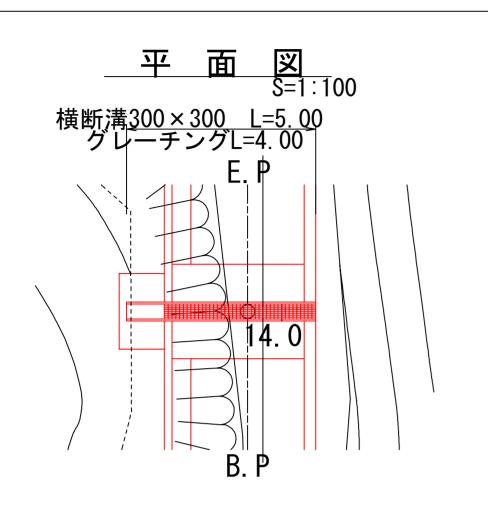
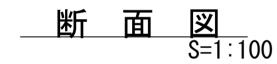
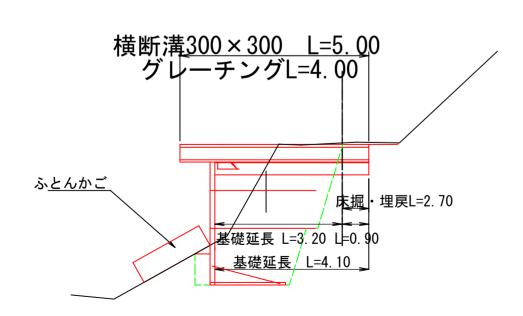


図	名	横断図 2/2
署	名	東北森林管理局米代東部森林管理署 上小阿仁支署
名	称	芦沢林道災害復旧工事1-2号
縮	刀	1:100

DL=95. 000

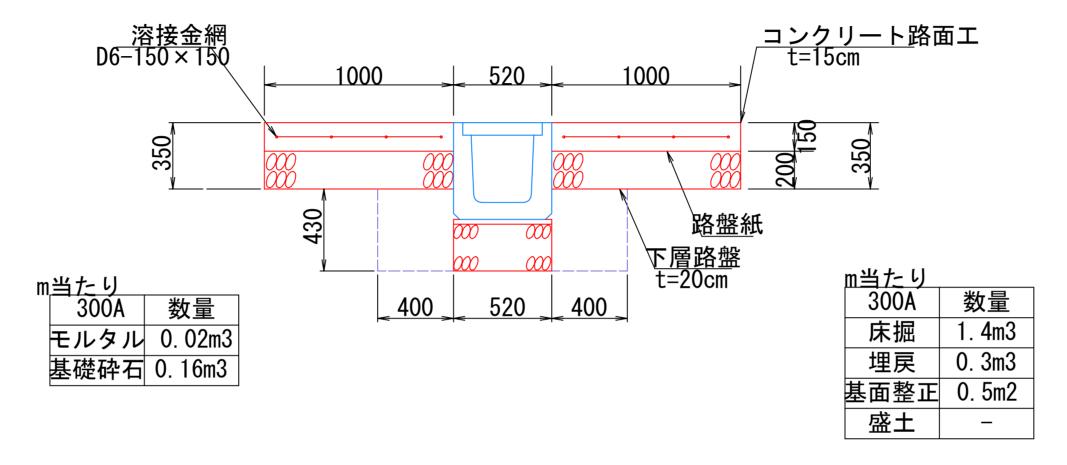




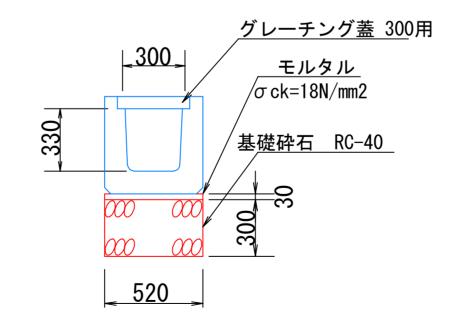


### 横断側溝工詳細図

#### <u>横断溝布設断面</u> S = 1:20



鉄筋コンクリートU型側溝 300A(横断用) S = 1:20



芦沢林道	1-2무
一八个是	1 47

名	排水詳細	図 1/1
名	東北森林管理局米代]	
称	芦沢林道災害復	旧工事1-2号
尺	図	示
	名	名 東北森林管理局米代

H=1000~4000L=22.00測点0.0~22.0

# 開

<u>√100.9</u>1

4.00 4.00 天端調整壁面材 8.00

底面幅:B(m) B=1.3 B=1.8B=1.6 B=1.8 B=2.0 B=2.0

植生マット

∇<u>101.1</u>4

 $\nabla 101.37$ 

▽99. 20

<del>-</del> ∇98.20 

∑ 797. 20

○ ∇96. 70

<u>天端側</u>面板

<u>鋼製L型擁壁 L=22.00m</u>

6.00

8.00

縦支柱材

2. 00

H=3.0 H=2.5 H=2.0 H=1.0

B=1.8 B=1.6 B=1.3 B=0.8

2. 00

<u>∇100.1</u>1

<u>天端側</u>面板

∇97. 70 G

∇97. 20 S

∇96. 70 S

天端調整壁面材 14.00

暗渠排水管 (無孔管 φ 150) (横断方向) 3.00 2.00

H=3.5

B=2. 0

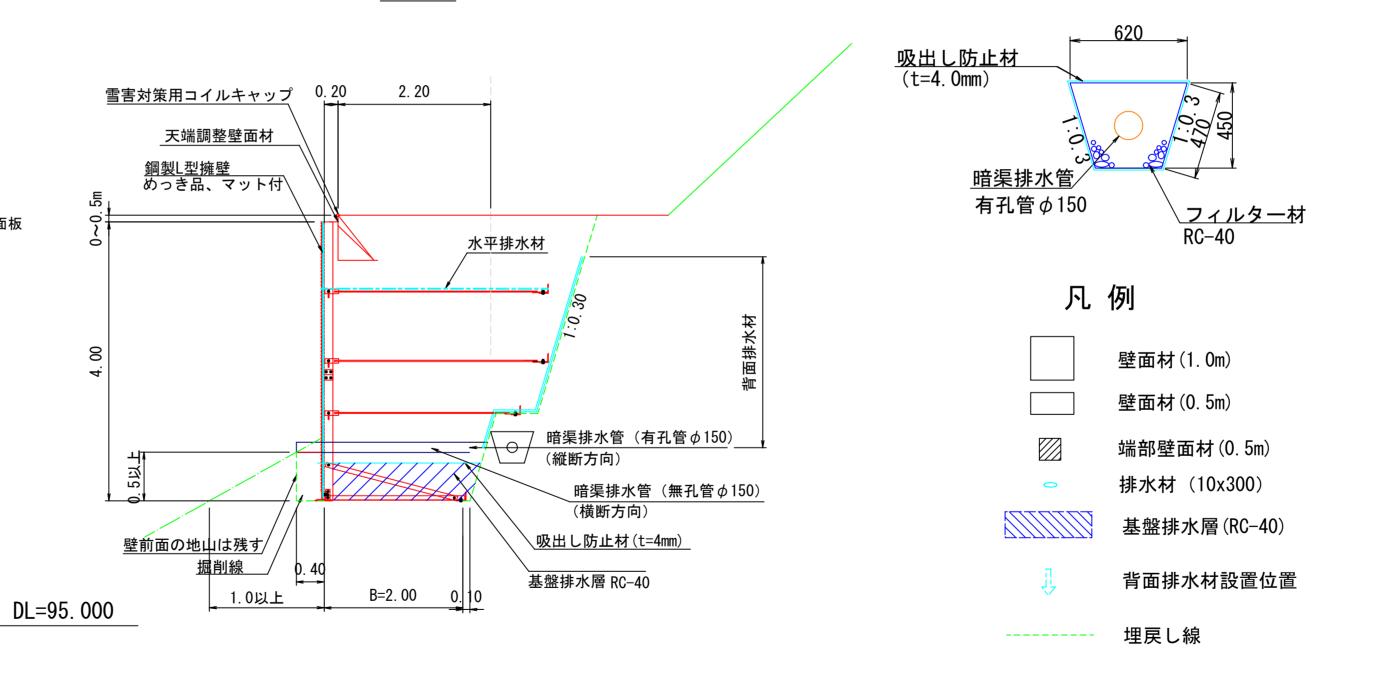
2.00

植生マット

#### 準 断

S=1:50

(12.0付近)



設計	条件
盛土材の内部摩擦角	$\phi = 35^{\circ}$
盛土材の単位体積重量	$\gamma = 18.0 \text{kN/m}$
載荷重(活荷重)	w=10.0kN/m²

		最大	地盤反力度
測点 4.0	常	時	qmax= 135kN/m² < qa=300kN/m²

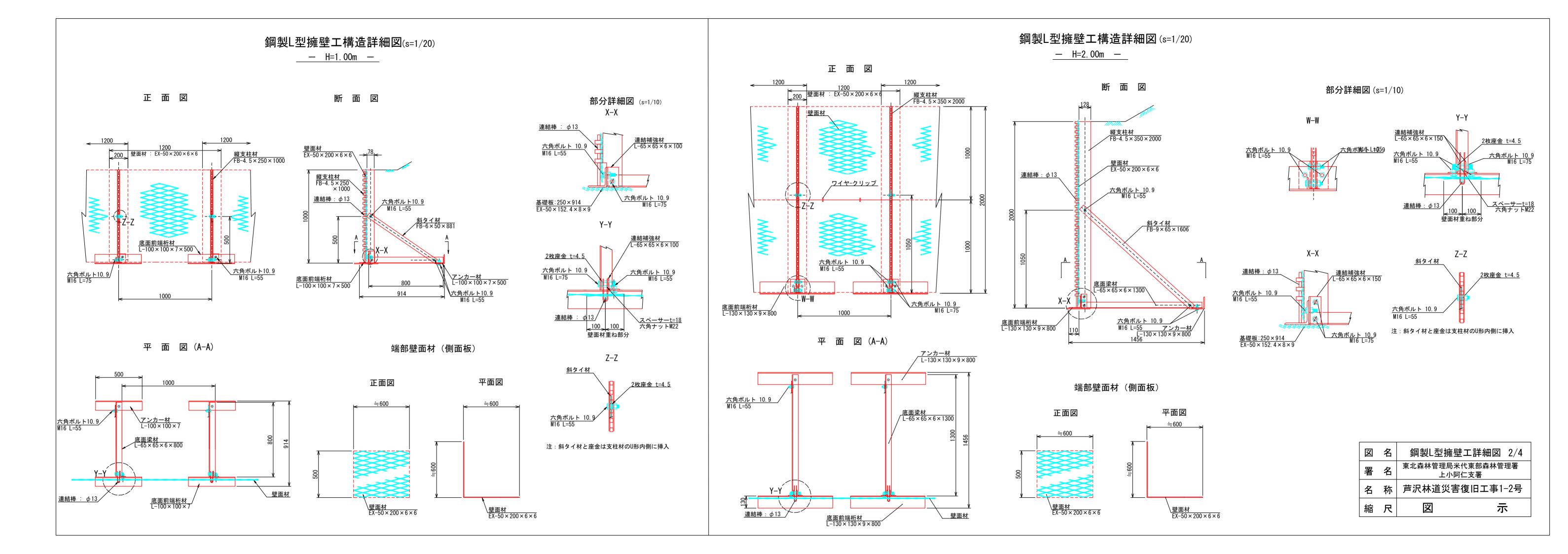
縦断排水溝詳細図 S=1/20

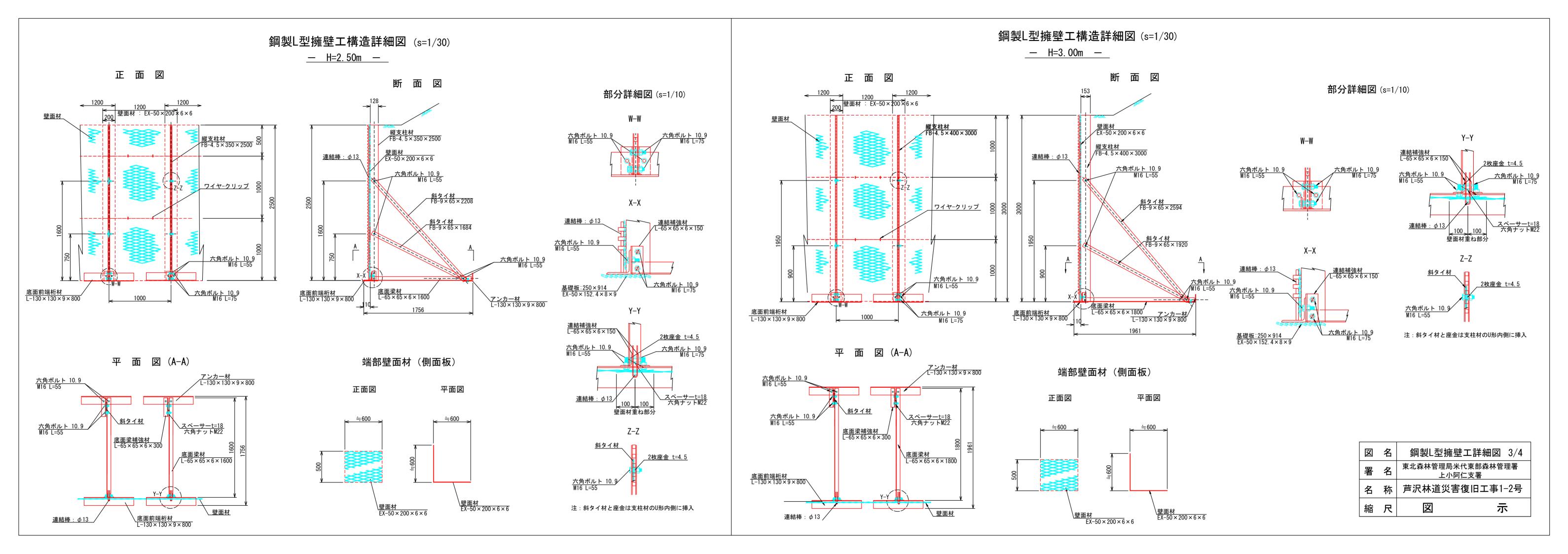
#### 特記事項

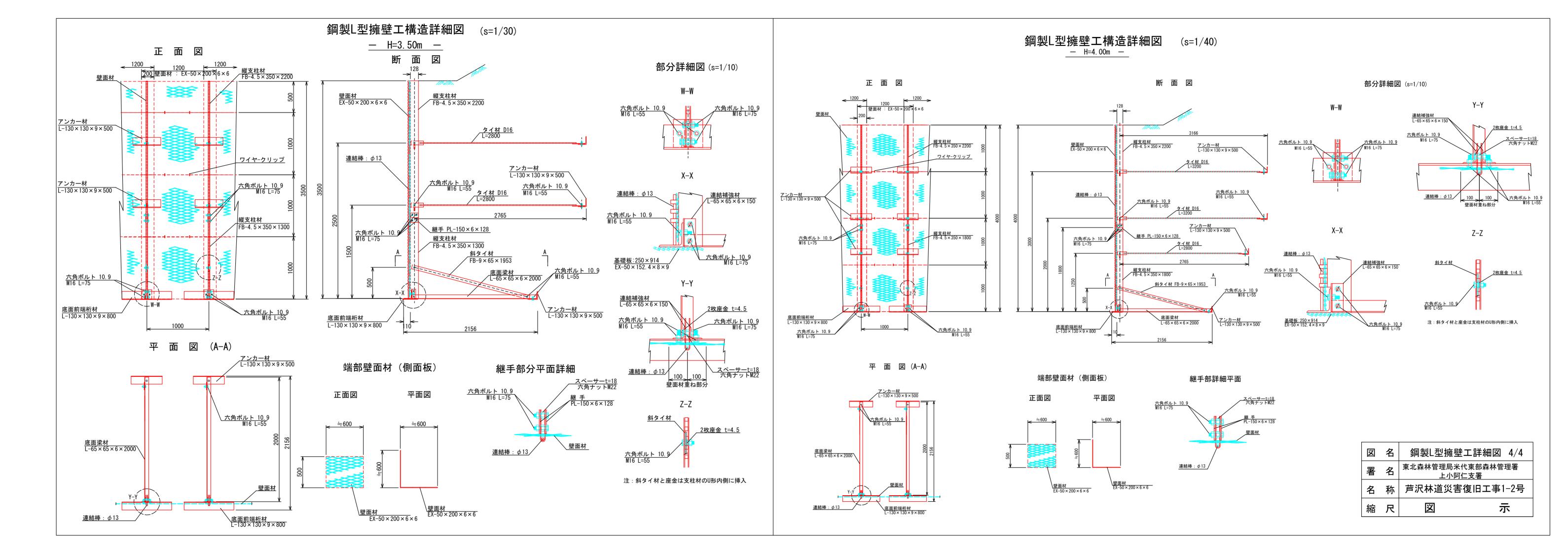
- ・盛土材は転圧作業が行えるもの、または転圧作業ができるように改 良する事を前提とする。
- ・背面の掘削面に湧水がある場合は、壁体内に水が侵入しないような 排水対策を施すこと。
- ・実施に際して土質試験等を行い、所定の土質定数や支持力を満足するか 確認すること。
- ・施工管理基準値は以下の項目を目安とし、各機関の基準に従うもの

施	工管理基準値
項目(頻度)	管理値又は許容値
盛土材の締固度 (盛土材500㎡ に1回)	・JIS A 1210のA, B法による最大乾燥密度の 95%以上、C, D, E法で90%以上とする。 ・岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管 理するものとする。
完成後の壁面勾配	・所定の壁面勾配±0.03H(H;壁高)

図	名	鋼製L型擁壁工詳細図	₹ 1/4
署	星 名 東北森林管理局米代東部森林管 上小阿仁支署		管理署
名	称	芦沢林道災害復旧工事	51-2号
縮	尺	図	示



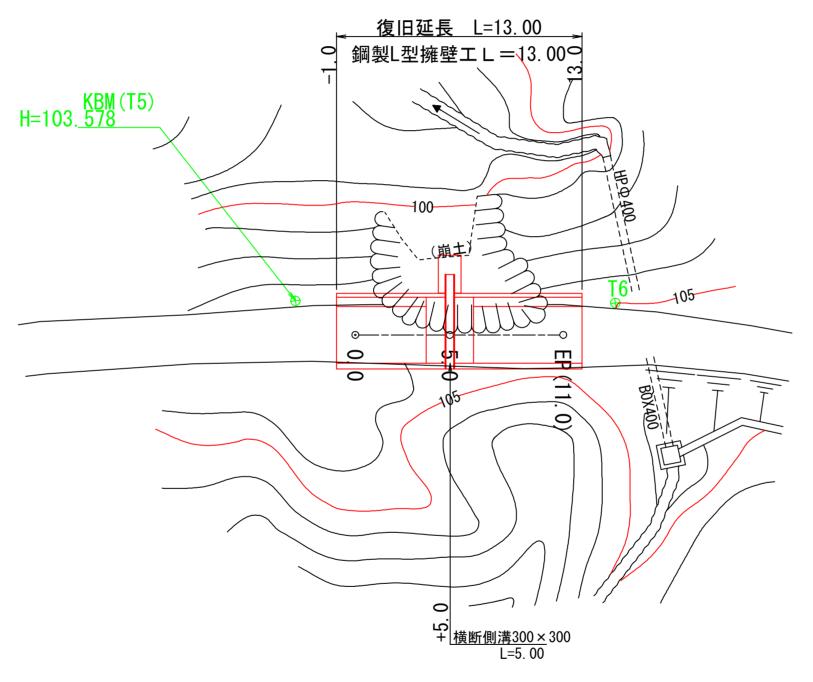




点 名	X座標	Y座標
KBM (T3)	383. 093	393. 876
T4	406. 545	399. 063
KBM (T5)	433. 539	405. 129
T6	449. 589	410. 495

### 平面図 S=1:200





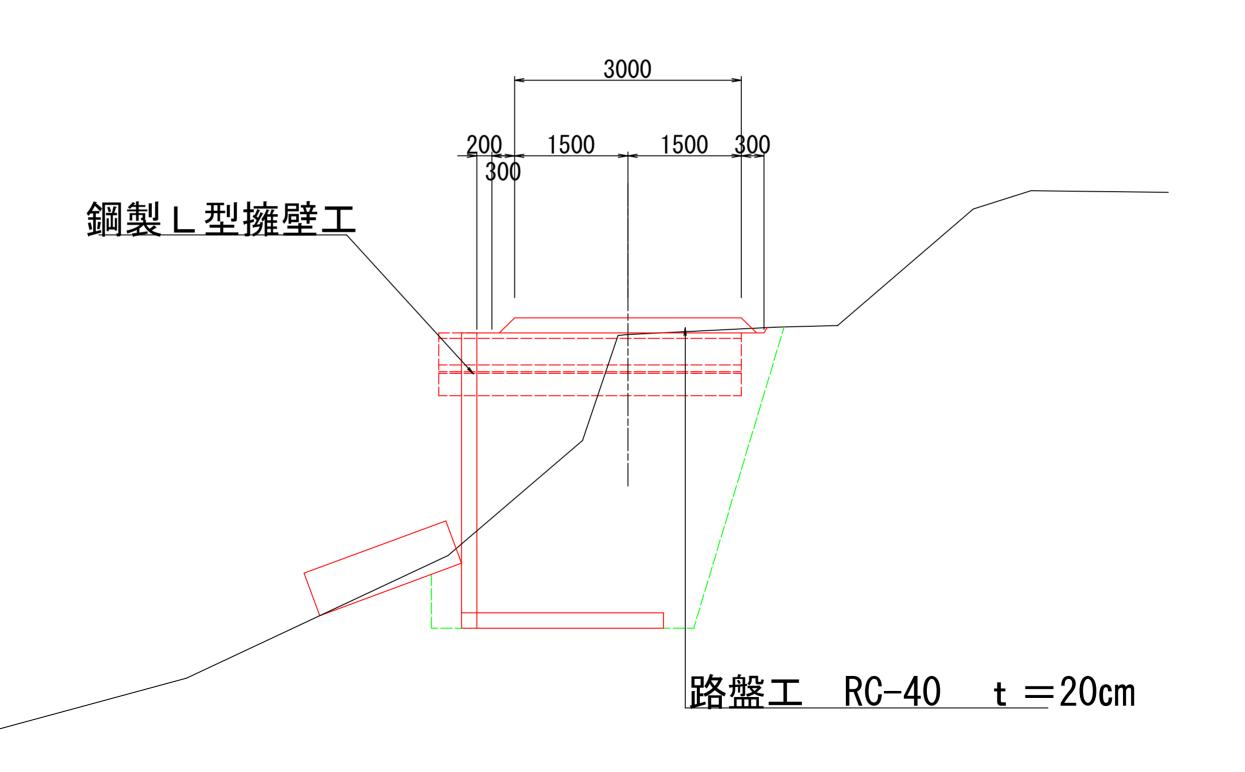
# 芦沢林道 1-3号

図 名	平 面 図 1/1		
署名	東北森林管理局米代東部森林管理署 上小阿仁支署		
名 称	芦沢林道災害復旧工事1-3号		
縮尺	1:200		

# ₩ 断 図 1<u>00. 0</u>0 DL=95. 00 801 1=11.00 40 12.00 40 盛土高 切 土 高 計画高 地盤高 追加距離 単 距 離 平面線形曲率図

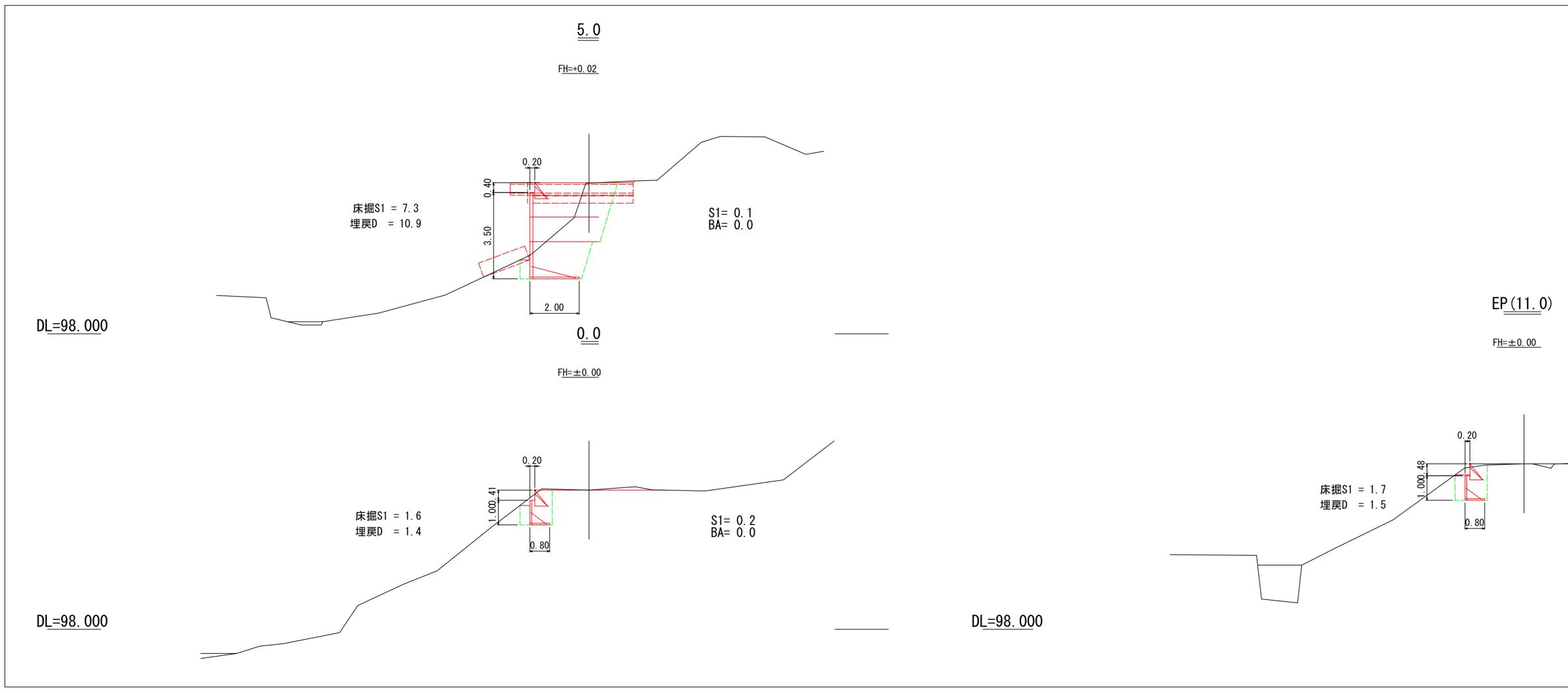
# 芦沢林道 1-3号

## 標準断面図 S=1:50

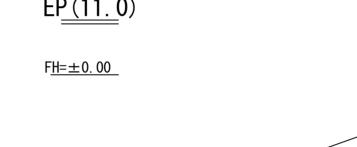


名	称	芦沢林道 1-3号	
種 類		自動車2級	
延長		L=24.8m	
全幅員		W=3.60m	
勾 最急		5. 08%	
最緩		5. 08%	
配平均		5. 08%	
最小	半径	R=20	

図	名	縦断・標準図	1/1
署	名	東北森林管理局米代東 上小阿仁支	
名	称	芦沢林道災害復旧	工事1-3号
縮	尺	図	示

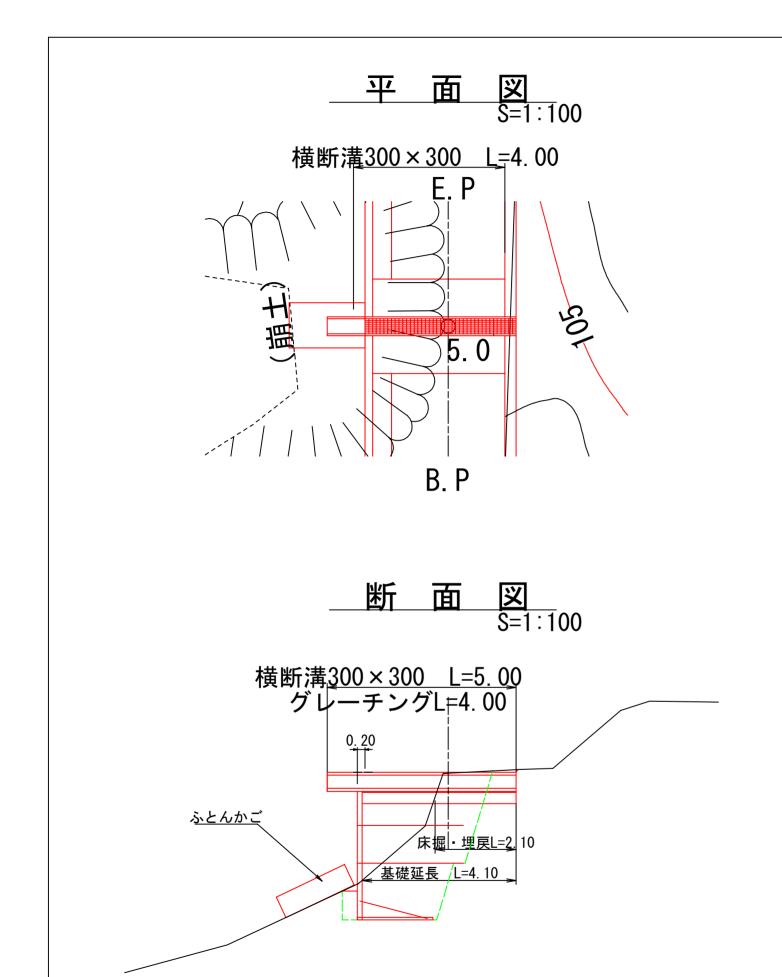


# 芦沢林道 1-3号



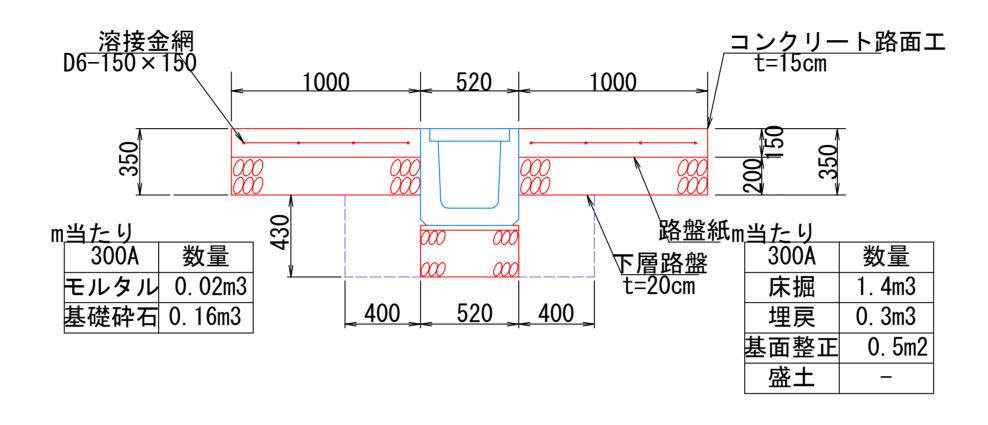
S1= 0.0 BA= 0.1





### 横断側溝工詳細図

#### <u>横断溝布設断面</u> S = 1:20



#### 鉄筋コンクリートU型側溝 300A(横断用) S = 1:20

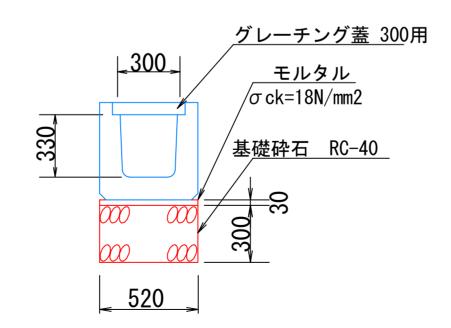
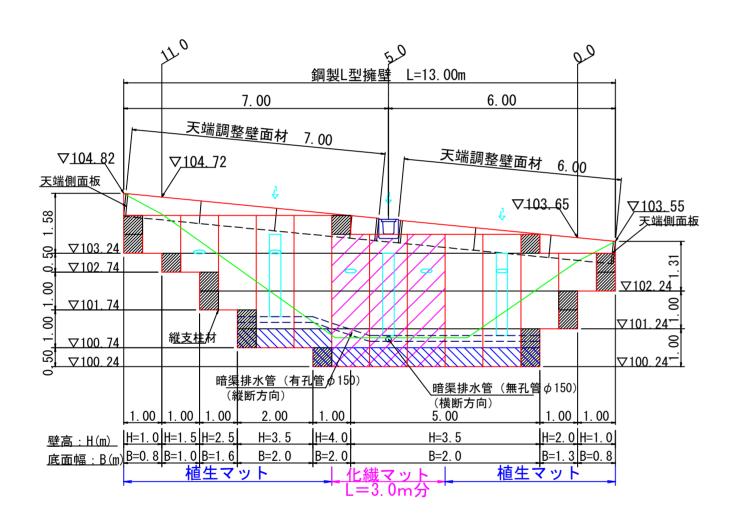


図	名	排水施設詳細	図 1/1
署	名	東北森林管理局米代第 上小阿仁第	
名	称	芦沢林道災害復Ⅱ	日工事1-3号
縮	刀	図	示

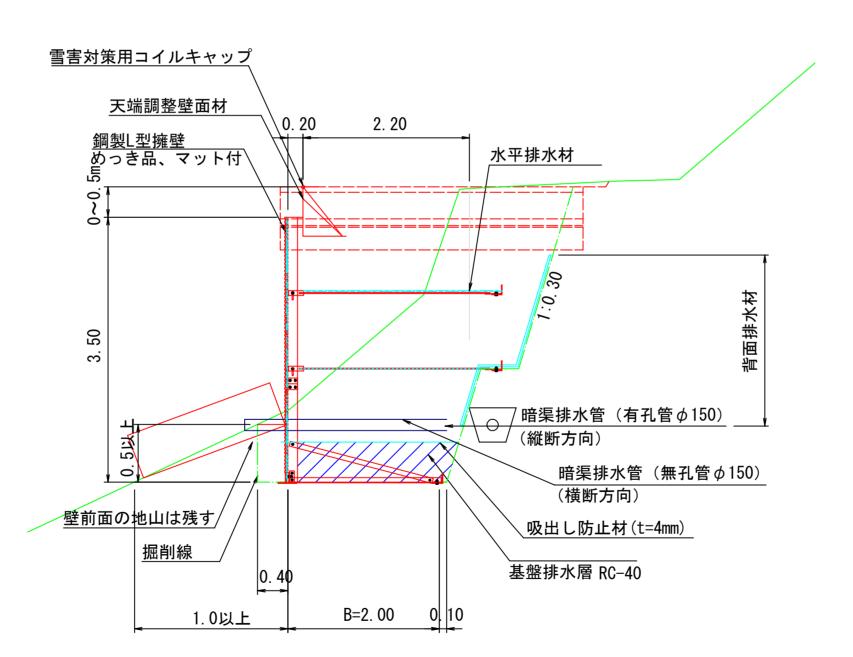
芦沢林道

### 開 S=1:100

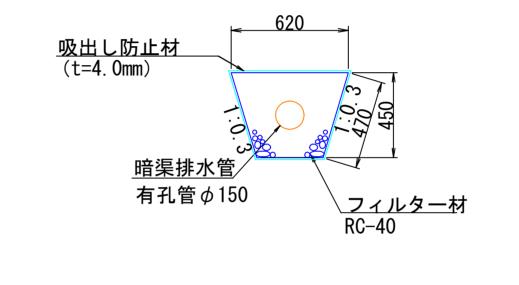


#### 準 標 断 义 S=1:50

5.0



### 縦断排水溝詳細図 S=1/20



#### 

凡例				
	壁面材(1.0m)			
	壁面材(0.5m)			
	端部壁面材(0.5m)			
0	排水材(10x300)			
	基盤排水層(RC-40)			
Ţ,	背面排水材設置位i			

----- 埋戻し線

設	計 条 件
盛土材の内部摩擦角	$\phi = 35^{\circ}$
盛土材の単位体積重量	$\gamma = 18.0 \text{kN/m}^3$
載荷重(活荷重)	w=10.0kN/m²

最大地盤反力度				
測点 4.0	常	時	$qmax = 135kN/m^2 < qa=300kN/m^2$	

#### 特記事項

- ・盛土材は転圧作業が行えるもの、または転圧作業ができるように改良する事を前提とする。
- ・背面の掘削面に湧水がある場合は、壁体内に水が侵入しないような 排水対策を施すこと。
- ・実施に際して土質試験等を行い、所定の土質定数や支持力を満足するか 確認すること。
- ・施工管理基準値は以下の項目を目安とし、各機関の基準に従うものとする。

施	工管理基準値		
項目(頻度)	管理値又は許容値		
盛土材の締固度 (盛土材500㎡ に1回)	・JIS A 1210のA, B法による最大乾燥密度の 95%以上、C, D, E法で90%以上とする。 ・岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管 理するものとする。		
完成後の壁面勾配	・所定の壁面勾配±0.03H(H;壁高)		

図	名	鋼製L型擁壁工詳	細図1/4
署	名	東北森林管理局米代 上小阿仁	
名	称	芦沢林道災害復	旧工事1-3号
縮	尺	図	示

